

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 定時評議員会 議事録（要旨）

- 1 日 時 平成 30 年 6 月 25 日（月）午後 2 時から午後 3 時 10 分
- 2 会 場 横浜市健康福祉総合センター 8 階 大会議室 8 A B
- 3 出 席 評議員総数 28 名中 20 名出席
- 4 議 題
 - 第 1 号議案 理事の選任について
 - 第 2 号議案 会計監査人の選任について
 - 第 3 号議案 平成 29 年度事業報告及び収入支出決算について

報告事項

- 1 平成 29 年度監事監査報告について
- 2 保有する情報公開に関する規程の一部改正について
- 3 平成 29 年度資産運用状況及び平成 30 年度資産運用方針について

5 議案の審議結果

第 1 号議案 理事の選任について

事務局より、理事 2 名の選任について、議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

第 2 号議案 会計監査人の選任について

事務局より、会計監査人の選任について、議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

第 3 号議案 平成 29 年度事業報告及び収入支出決算について

事務局より、平成 29 年度事業報告及び収入支出決算について、議案書に基づき説明したところ、以下の意見があり、全員異議なく原案のとおり承認された。

[第 60 回大都市社会福祉協議会について]

(評議員) 昨年 7 月 20 日・21 日、ベイシエラトンホテルにて、全国の大都市から約 250 名が参加し、大会を開催しました。横浜からは、それぞれの会員施設から約 40 名が参加しました。

私は児童福祉部会に参加し、札幌、川崎、京都、神戸、北九州、千葉、名古屋、大阪、広島、福岡、横浜のメンバーと議論しました。

その中で、母子生活支援施設があまりにも活用されていないという実態が話題になりました。児童を守り、親子で支援ができる、最後の砦となる施設であり、活用されていないのは実に残念です。DVで被害に遭われた方などのために、関係の方々にもっと活用して欲しいという意見が多数ありました。

乳児院や児童養護施設では、国から小規模化が求められているが、職員の配置について改善・配慮していただかなければ、より良い形での家庭的養護というものが実現できないのではないかという議論がありました。

大会終了後、内閣府・厚生省・衆議院・参議院・全社協等に、実行委員長や各部長が、要望書を提出し、大会の結果を報告しています。

[民生委員制度創設 100 周年記念事業について]

(評議員) 昨年、民生委員制度創設 100 周年を迎えました。昨年 11 月 25 日に横浜市長も参加していただき、盛大に大会が開催されました。

私たちは、よき隣人として、住民と寄り添い、その生活状況を把握して、関係機関・団体につなぐという、地域の身近な相談役を担ってきました。100 周年を機に、「小さな気づき 寄り添う心 頼れる地域の『つなぎ役』」という新たなキャッチフレーズと、2つの行動目標を作りました。1つは、一人ひとりの民生委員・児童委員が、やりがいや魅力を積極的に発信していくこと。2つめは、困りごとを受け止め、地域とともにささえあうまちづくりを進めていく、ということです。大会では、これらの目標を再確認いたしました。

報告事項 1 平成 29 年度監事監査報告について

監事より、平成 29 年度監事監査報告について、議案書に基づき説明。

報告事項 2 保有する情報公開に関する規程の一部改正について

事務局より、平成 30 年 6 月 5 日開催の理事会で決議された、本会の保有する情報公開に関する規程の一部改正について、議案書に基づき説明。

報告事項 3 平成 29 年度資産運用状況及び平成 30 年度資産運用方針について

事務局より、平成 29 年度資産運用状況及び平成 30 年度資産運用方針について、議案書に基づき説明。